
ファイナ財団企画海外視察旅行

"スリランカ出会いの旅"に参加して

SA 大阪市連協 大西和子

2004年1月17日～24日の8日間一行18名、灼熱のスリランカ民主社会主義共和国へ交流の旅に訪れました。同行して下さったスリランカ人、ティラカ・ピヤシーリさんの案内で主な目的は、現地住民との交流会とコウベ・ランカ幼稚園の訪問でした。幼稚園では園児に卒園証書を手渡し、各自がみやげに持って行ったお菓子とか手づくりおもちゃなどを園児たちにプレゼントしました。



ストロー人形の作り方を指導中

園児たちと一緒に過ごした時間は、参加者もご自分のお孫さんの姿と重なってか、楽しそうな顔ばかりでした。私は80人分のストロー人形の材料(クレヨン3箱、ストロー200本、おサル/とら・うさぎ等6種類をコピーし画用紙に貼り付け)を準備して行きました。あとで園児の皆さんには教諭から指導して頂く為に、その場でストロー人形の作り方を教諭にお教えしたのですが、その光景が帰国後2月16日の産経新聞に載ったようです。

その教諭は、昨年東豊中幼稚園に2週間ほど研修に来て居られたとのことで、私の日本語も通じたようでした。



また、乳児院、老人ホーム等を訪問し、訪問先で12年間もボランティアをしている日本人の鈴木さんと出会い、「スリランカの人々は経済的に貧しくても心がゆったりと優しさがいっぱいであり、60歳からボランティアのため、スリランカに年間何度も行ったり来たりしている」と話された事が印象に残っています。

出合った子どもたちの瞳の輝きに、幸多かれと願いながら、帰国しました。
